

カリキュラム区分		現行カリ			シラバス区分		専攻科		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
助産学基礎領域	S102	1年	前期	助産学専攻科	必修	性と生殖の形態機能	15	1	
						Reproductive Anatomy and Physiology			
担当教員									
草薙 康城									
関連するDPキーワード									
	① 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。								
	② 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。								
○	③ 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。								
○	④ マタニティサイクルにある対象の個性性を尊重し、対象のもつ力を最大限にひきだすための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる								
	⑤ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。								
○	⑥ 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。								
	⑦ 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。								
授業目的									
婦人科疾患の病態・疾患に対する考え方および治療戦略について学ぶ。									
到達目標（授業目標）									
助産師として基盤となる女性生殖器的の解剖・疾患について説明できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	女性生殖器的の解剖と性分化異常：女性生殖器的の解剖、子宮奇形								
2回	思春期に起こりやすい婦人科疾患と性感染症：ホルモンのバランス異常と月経、月経前緊張症候群、神経性食思不振症、性感染症（HIV、クラミジア、コンジローマ、淋病）								
3回	子宮内膜症：子宮内膜症の診断・管理								
4回	子宮筋腫と卵巣腫瘍：子宮筋腫、卵巣腫瘍の診断管理								
5回	子宮頸癌の発生・診断・治療：子宮頸部疾患（腔部ビラン・子宮頸癌）の病態生理と診断法・治療法・予後								
6回	子宮頸癌の予防：子宮がん検診制度、子宮頸癌予防HPVワクチンの開発と普及								
7回	婦人科悪性腫瘍の治療戦略：子宮体癌・卵巣癌の診断・治療								
8回	総合学習：実際の症例提示のもとに、または過去の国家試験（臨床実地問題形式を主体で）をもとに、これまでに学習したことを生かして、チュートリアル形式で学習を深める。								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									

